

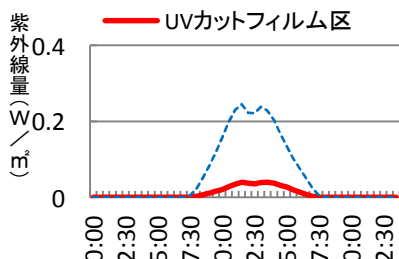
施設栽培花き類における UVカットフィルムの影響評価

UVカットフィルムの効果は？

花き類を加害するアザミウマ類やコナジラミ類は、紫外線(UV)を可視光として行動するため、UVカットフィルム展張の施設内では、害虫の活動が抑制されることが知られています。

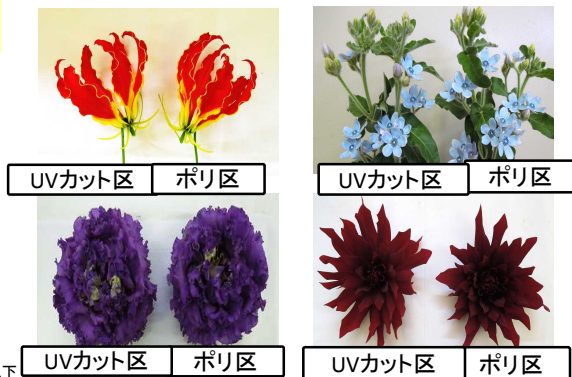
一方、ナスでは果実の着色に影響することが知られており、花き栽培でも花色に影響を及ぼす可能性があることから、これまで利用されていませんでした。

UVカットフィルムを展張することで、ハウス内への紫外線の透過量が減ります。



2015年1月の月平均値、UVカットフィルム区には380nm以下をカットするフィルムを内張りしに展張した

花色への影響



生育、切り花品質への影響

グロリオサの生育に及ぼす影響

品種	試験区	茎長 (cm)	葉数	花序長 (cm)	第1花の 花梗長 (cm)
サザンウインド	UVカット	142.7	27.9	42.0	22.2
	ポリ	135.1	27.1	38.6	21.6

ブルースターの切り花品質に及ぼす影響

品種	試験区	収穫日 (月/日)	切り花長 (cm)	茎長 (cm)	葉の節数 (節)
ピュアブルー	UVカット	12/31	39.3	20.8	6.8
	ポリ	1/5	41.9	22.4	7.0

トルコギキョウの切り花品質に及ぼす影響

品種	試験区	頂花着花節 位 (節)	切り花長 (cm)	商品 花蕾数 (個/株)
ボヤージュ2型ブルー	UVカット	13.0	80.8	5.1
	ポリ	12.9	80.4	4.9

ダリアの切り花品質に及ぼす影響

品種	試験区	切り花長 (cm)	花柄長 (cm)	節数 (節)	平均節間長 (cm)
黒蝶	UVカット	137.2	28.0	8.5	13.0
	ポリ	133.0	30.1	8.4	12.3

いずれの試験のUVカット区も近紫外線除去フィルム(商品名:健野果UV380nm以下を100%カット)を内張りしに用いた結果である

県内の主要施設栽培花き類(グロリオサ、トルコギキョウ、ブルースター、ダリア)にUVカットフィルムを展張しても切り花品質、花色への影響は小さく、害虫の物理的防除の1つとして利用することができます。